金城学院で活躍する
先生をピックアップ

Kinjo Spirit

金城スピリット

言語は謎に満ちている。
その謎を解き明かす楽しさ。

子どもはみな、4歳ぐらいまでに母語の基本を習得します。
では、なぜ、文法のルールも知らない幼児が
言語という複雑な仕組みを理解し、使いこなせるようになるのでしょう。
そんな言語の謎を解き明かすのが言語学の醍醐味、と高野祐二先生。
日ごろ当たり前のように使っている言語の不思議さ、おもしろさに
私たちを誘ってくれます。

言葉の仕組み（文法）を学ぶ楽しさを伝えたい。

中学・高校時代から英語が好きで、英語の教師になりたいと思っていました。英語が好きと言っても、私は英会話や英語の物語を読むことより、「英語の仕組み」に興味がありました。なぜ飛行機は飛ぶんだろう？クルマのエンジンの仕組みは？など、モノの仕組みを考えたり、勉強したりするのが好きだったこともあり、英文のメカニズムを学ぶことが楽しかったんです。

私たちが新しい外国語を学ぶ時は、まず仕組み（文法）を学びますよね。で、その文法でつまづいたり、語学が嫌いになってしまうことが多いんです。でも、言語そのものの仕組みを考えることって、実は奥が深くておもしろい。私が教師をめざしたのも、そんな言葉の仕組みのおもしろさを生徒たちに伝えたいと思ったからなんです。

人間は生まれながらにして
言葉を身につけるプログラムを備えている。

教師を志していた私が研究者の道を選ぶことになったきっかけは、大学時代の授業で出会った生成文法です。言語の本質に迫るこの学問に興味を掻き立てられた私は、周りの勧めもあって大学院に進学。結局、日本の大学院で4年半、アメリカの大学院で4年半、合計9年間を生成文法の研究に費やしました。

生成文法はアメリカの言語学者、チョムスキーが提唱した言語理論。言語研究に自然科学の手法を取り入れたアプローチで、人間の脳に備わる言語能力の解明をめざしています。たとえば今、世界にはおよそ7,000もの言語が存在しています。でも、生まれてくる時は何語も話せません。一方、子どもは4歳ぐらいまでに、触れている言語の中核を身につけてしまいます。日本で育っていれば日本語、アメリカで育っていれば英語、というように。では、いったい、どんな仕組みがあることで人間はそれほど効率よく言葉を話せるようになるのでしょう。しかも、それが7,000通りにもわかれる仕組みは。

その問いに対して、「世界には7,000通りの言語があるけれど、実はかなりの部分は共通していて言語間の違いは単純な性質に還元される。そして、その共通の枠組みのようなものは生まれつき備わっている」という仮説が出てきます。もし、そうでないとすると、子どもが特に努力もせずに、短期間で言葉を話せるようになるのは到底無理な話。生成文法理論を脳科学の視点で実証しようとする研究者もいます。

高野 祐二 教授

TAKANO YUJI

金城学院大学　副学長
文学部　英語英米文化学科教授

カリフォルニア大学アーバイン校大学院言語学科博士課程修了。理論言語学を専門とし、人間の言語能力の謎を解明する生成文法の統語理論や比較統語論（パラメータ研究）、統語構造と語順の関係、移動現象の研究を行う。

所属学会：日本言語学会
日本英語学会
Linguistic Society of America

生成文法が発表されて60年。まだまだ解明されていない部分もたくさんあり、そこに私は惹かれています。自分が研究することで今までわからなかったことが解明できたり、新たな発見ができれば、研究者にとって大きな喜びですから。

学生たちが自身の可能性に気づき、未来を描ける大学に。

この4月より本学の副学長を拝命しました。副学長として学長を補佐するとともに、大学全体の舵取りに参画する立場になって思うことは、ひとつは大学が学生一人ひとりの「いいところ」を見つけ、伸ばしてあげられるような場所でありたいということ。もうひとつは、本学で働くすべての教員、職員がいきいきと働ける大学でありたいということ。そのための環境づくりにも積極的に取り組んでいきたいと思っています。副学長になって授業が減り、学生と接する時間が少なくなったのは寂しいことですが、副学長という重要な責務を果たすためにも日々勉強を重ね、教職員ともコミュニケーションをとりながら、大学をより良くしていけたら素晴らしいなと思っています。

教えて先生！
My Favorite

高野先生の愛用品は？

北欧の道具や雑貨に惹かれています。その魅力はひとことで言うと「シンプルで機能的」。言語と同じなんです（笑）。スウェーデンのクルマ（ボルボ）に乗るようになって、特に内装が日本のクルマと違うなということがわかり、それからというもの、もっぱら北欧の製品に目が行くようになりました。

専門演習（ゼミ）の受講生に聞きました！

Q. 高野先生ってどんな人？

〈前列左から〉
水谷眞胡さん、村田沙耶果さん、杉本彩さん
〈後列左から〉
大河原優果さん、木下沙織さん、衛藤彩さん

この４月より高野先生が副学長に就任したことから、今回登場してくれた学生は先生にとって最後のゼミ生。
「言語学ってすごく難しいのですが、高野先生は具体的な例をあげ、わかりやすく紐解いてくれる。だからおもしろい」。「学生一人ひとりのことをいつも気にかけてくれる」。「高野先生の最後のゼミ生になれて本当によかった！」。
学生から口々に発せられる言葉からは、高野先生が熱意と愛情をもって学生たちを指導していることが、ひしひしと伝わってきました。